

みずほCustomer Desk Report 2025/04/10号 (As of 2025/04/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	145.40
TKY 9:00AM	145.87	1.0980	160.15	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	148.26	1.1095	162.20	1.2791	0.5954
SYD-NY Low	143.99	1.0913	159.50	1.2864	0.6174
NY 5:00 PM	147.75	1.0950	161.72	1.2743	0.5910

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,608.45	2,962.86	日本2年債	0.6100%	▲0.0300%
NASDAQ	17,124.97	1,857.06	日本10年債	1.2700%	0.0100%
S&P	5,456.90	474.13	米国2年債	3.9098%	0.1822%
日経平均	31,714.03	▲1,298.55	米国5年債	4.0462%	0.1292%
TOPIX	2,349.33	▲82.69	米国10年債	4.3247%	0.0357%
ソコ日経先物	35,000.00	2,655.00	独10年債	2.5795%	▲0.0450%
ロンドンFT	7,679.48	▲231.05	英10年債	4.7885%	0.1825%
DAX	19,670.88	▲609.38	豪10年債	4.3620%	0.1550%
ハンセン指数	20,264.49	136.81	USDJPY 1M Vol	12.25%	▲1.53%
上海総合	3,186.81	41.26	USDJPY 3M Vol	11.33%	▲0.98%
NY金	3,079.40	89.20	USDJPY 6M Vol	10.80%	▲0.67%
WTI	62.35	2.77	USDJPY 1M 25RR	▲2.51%	Yen Call Over
CRB指数	288.05	8.27	EURJPY 3M Vol	10.45%	▲1.70%
ドルインデックス	102.90	▲0.05	EURJPY 6M Vol	10.35%	▲1.27%

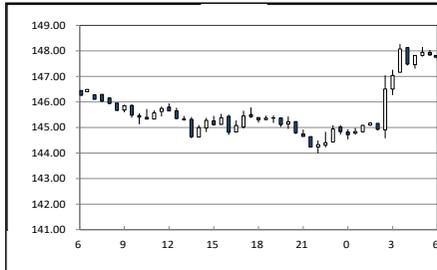
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
4月9日	15:15	日 植田日銀総裁 講演	「見通しが実現すれば政策金利を引き上げ、金融緩和の度合いを調整」		
	17:10	日 三村財務官 発言	「市場動向を高い緊張感を持って注視し、適切に対応する」		
	23:00	米 卸売在庫(前月比)-確報	2月	0.3%	0.4%
4月10日	23:00	米 卸売売上高(前月比)	2月	2.4%	0.8%
	01:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	「個人消費の落ち込みはまだ見られないが、注視している」		
	02:20	米 トランプ大統領 発言	「中国への関税を125%にし、一部の国への相互関税を90日間一時停止」		
03:00	米 FOMC議事要旨	「インフレへのリスクは上向きであるが、雇用へのリスクは下向き」			

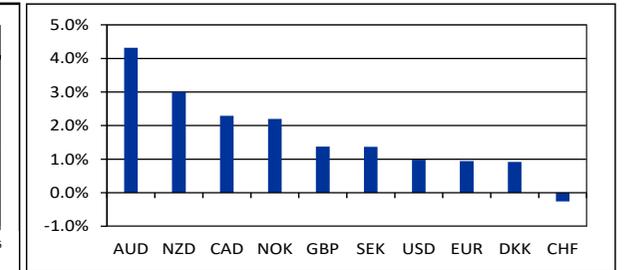
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
4月10日	10:30	中 PPI(前年比)	3月	-2.3%	-2.2%
	10:30	中 CPI(前年比)	3月	0.0%	-0.7%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	3月	0.1%/2.5%	0.2%/2.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	5-Apr	223k	219k
	22:30	米 ローガン・ダラス連銀総裁 講演		-	-
4月11日	23:00	米 ボウマンECB理事 講演		-	-
	01:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演		-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.50	1.0800-1.1100	160.00-162.50

【マーケットインプレッション】

昨日はトランプ米大統領が相互関税に対する報復措置を取っていない国に対し、90日間の関税一時停止を発表したことで、リスクオフの急激な巻き戻しが起こり、米株式の急騰とともに、ドル円も一時148円台を回復した。日中はこの流れを引き継ぎ、アジアや欧州市場でも株価の急反発が想定されることから、ドル円も底堅く推移する展開を予想する。米国時間には3月米CPIが発表されるものの、足許では米関税政策の動向が市場の焦点となっており、CPIの結果によって相場の方角感が決められる展開とはなりづらいか。もっともトランプ政権は中国に対しての税率を125%に引き上げるなど、米関税政策を巡った貿易戦争の拡大懸念は完全に払拭されたわけではないため、引き続き関税関連のヘッドラインには警戒したい。

東京	東京時間のドル円は145.87レベルでオープン。米中貿易摩擦激化懸念からリスクオフムードが高まるなか、反落する株式市場に連れられ円買い優勢で推移。東京時間13時に予定通り相互関税の上乗せ分が発動すると、発動延期の期待感が剥落しドル円も年初来安値に迫る144.58まで下落。その後は日銀・財務省・金融庁が三者会合を行うとのヘッドラインを受けた、円高けん制にかかる警戒感などから145.39レベルまで値を戻し海外時間へ渡った。
ロンドン	米国と中国の貿易戦争が激化する中、原油価格は60ドル以下で取引され、過去4年間の最安値を記録した。リスクセンチメントの継続的な変化が円の需要を押し上げた。中国が84%の対米関税を発動したとのニュースを受けてドル円は下落し、144.65レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方は143.99まで下落する場面もあったが、その後は米株がやや上昇する展開に背景に145円ちょうど付近まで戻す。午後はトランプ米大統領が「米国に報復措置を講じていない国・地域に対して、高水準の相互関税を90日間停止することを承認した」との発表を受けると、リスクオフムードが後退し、円売りが一段と強まり、148.26まで大幅上昇。その後は小幅反落し、147.75レベルでクローズ。一方、NY市場のユー・ドルは特設注目材料が見当たらない中、1.1095まで上昇するも、その後は伸び悩み、1.1040付近まで反落。午後はトランプ大統領が相互関税を90日間停止すると発表を受け、ドル買いが優勢となり、1.0913まで値を下げる。その後は下げ渋り、じりじりと値を戻し、1.0950レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。